

# 接遇研修を 開催しました



令和5年9月29日に、サービス向上委員会主催で院内研修を実施しました。内容は医療接遇オンラインセミナーの基礎編と確認編の一部を活用し、計21名の出席がありました。当日出席できなかった職員は後日動画を視聴し、ほぼ全員の職員が受講しました。

研修内容を簡単に紹介させていただきます。医療に求められる接遇とは、言葉や接し方、立ち居振る舞いで相手の気持ちを和らげ、さらには「症状まで良くなったような気がする」と患者さんが思えるようになること。接遇には心と形が大切で、心とは、人としての思いやりや、相手を大切に思い相手の立場になり考えること。形とは、相手を大切に思っているという心を動作として表現する手段が大切ということ学びました。このような研修は一部分ですが、当院では、毎月のように様々な研修を実施し、職員一同、自己啓発に努めています。

春  
夏  
秋  
冬

## 日本プライマリ・ケア連合学会認定

# プライマリ・ケア看護師誕生！

\*プライマリ・ケア看護師とは？\*  
患者さんとの信頼を深め、患者さんの家族や生活背景も含めた全人的ケアを提  
供できるよる、予防から治療までを見据  
えてケアをすすめる看護師のこころを指し  
す。医師でいうところの総合診療医とい  
ったところでは、厳しい審査を経て、笹浪副総看護師長・佐藤副  
師長が、当院で初めて認定を受けまし  
た。

\*認定看護師からのメッセージ\*  
私たちは、この地域で生活されている皆  
さんの、生活上での心配事、病気の悩み  
や相談、自己管理の方法など、自分ら  
しく生活していくためのお手伝いをさせ  
ていきたいと考えています。  
どうぞよろしくお願いいたします。



〈編集〉

道立羽幌病院  
サービス向上委員会  
院外報部門  
第71号

## 地域連携室からのお知らせ

当院では、急性期治療後の在宅復帰にむけた医療・支援を行うため、平成28年6月から地域包括ケア病床を運用しております。



### 地域包括ケア病床とは？

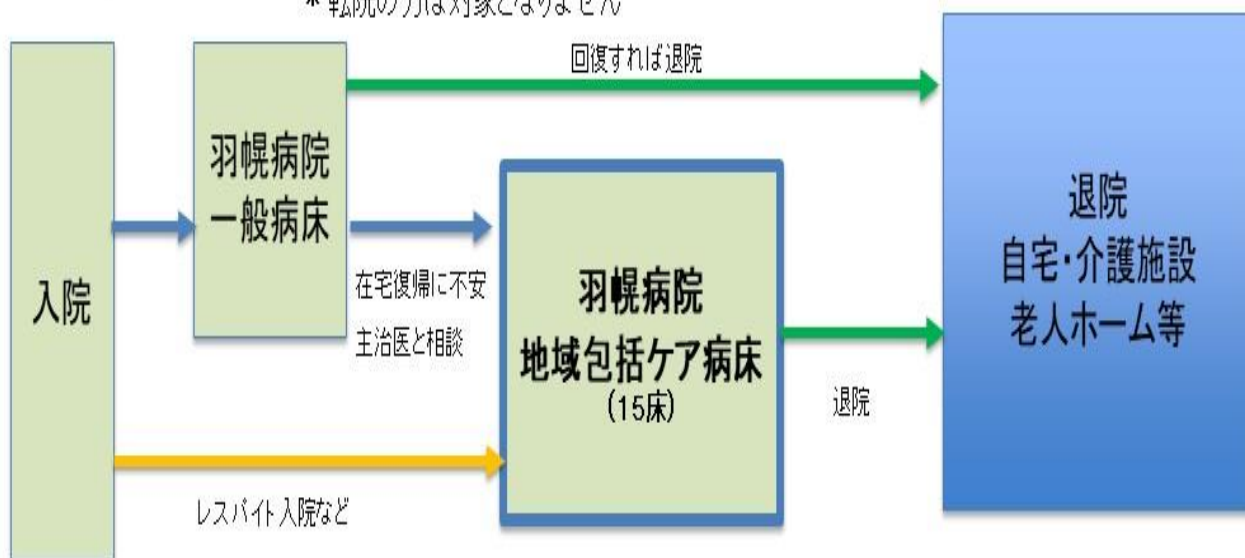
急性期治療を終え、すぐに在宅や施設等へ移ることに不安がある患者さまや、リハビリが必要な患者さまなどを受け入れます。在宅や施設復帰に向け診察、看護、リハビリテーションや退院支援を行う病床です。

入院期間は最長60日が限度です。

### 対象となる患者さまは？



- ・入院治療により症状が改善したがもう少し経過観察が必要な方
  - ・入院により症状が安定し、在宅復帰に向けリハビリが必要な方
  - ・入院により症状が安定し、在宅での療養準備が必要な方
  - ・レスパイト入院の方
- \* 転院の方は対象となりません



\*お問い合わせは、道立羽幌病院 地域連携室まで 電話0164-62-6060 (担当:石川・中尾・御囲)

北海道立羽幌病院

### 患者－医療者パートナーシップ宣言

- 医療の主役は患者様です。
- 私たち医療者は、患者様の病気の診断・検査・治療計画について、十分な説明をします。
- その上で納得して医療を受けられるよう支援いたします。
- わからないことは、何でもお気軽に相談してください。